

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 124

事務事業名	病院事業
-------	------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	福祉保健部		
課名	福祉総務課		
課長名	森 克彦	内線	460
担当者名	米田 雄亮	内線	604

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020103	健康づくりの推進と医療体制の充実
施策		医療体制の充実
関連施策		

会計	病院事業会計	
款	1	病院事業費用
項		
目		
事業コード		

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画	大村市立病院の経営のあり方に関する基本方針	
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	医療を必要としている患者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	医療体制の充実及び病院事業の経営健全化を図り、市民に信頼される良質な医療環境を提供し、市民の健康保持に寄与する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	市立大村市民病院は、市民の健康維持・増進を図るため、救急医療や高度医療などの良質な医療サービスを提供する施設として必要不可欠であり、指定管理者制度を導入し、民間経営ノウハウを導入することで、病院事業の経営効率化を図り、政策医療の確保を図る。		
事業期間	昭和 26 年度 ~ 平成 年度	実施方法	委託
根拠法令、要綱等	大村市病院事業の設置等に関する条例		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考	
活動指標	① 政策医療交付金	計画値	千円	256,904	258,608	202,465	234,622	市は政策医療の提供に要する費用の一部を交付する。
		実績値		255,815	256,904	250,908		
		達成度	%	99.6%	99.3%	123.9%		
成果指標	① 文書による紹介患者数	計画値	人	4,200	4,100	4,300	4,800	地域の医療機関との連携を図る目安
		実績値		4,039	4,407	4,925		
		達成度	%	96.2%	107.5%	114.5%		
② 病床利用率(許可病床数) ※H28年度指標変更	計画値	%				65.0	許可病床数(H28.4.1現在:284床)に対する病床利用率	
	実績値		58.0	60.7	64.7			
	達成度	%						

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	771,768	714,195	669,048	629,574	888,169	892,818	892,532	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	155,570	143,213	138,592	133,757	140,016	140,016	140,016	
一般財源	616,198	570,982	530,456	495,817	748,153	752,802	752,516	
② 人件費(千円)	11,731	16,658	15,464	18,177	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	1.15	1.91	1.85	1.90				
時間外勤務(時間)	371	187	283	330				
嘱託等人数(人)	1.00	1.00	1.00	2.00				
フルコスト(①+②千円)	783,499	730,853	684,512	647,751				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成26年度に行った実施設計に基づき、平成27年度は建設工事に着手した。
事業が抱える問題・課題等	平成29年度の新病院プレオープン、平成30年度のグランドオープンに、支障を生じないよう着実に建替え事業を進めていく。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	公立病院として、市民の生命と健康を守り、地域に根ざし、市民に信頼される病院を目指し、政策医療や入院機能を持った二次救急医療を担う必要がある。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	地域住民の医療・福祉に寄与するため、自治体病院として存続する必要がある。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	指定管理者の病診・病病連携の取り組みが成果となって現れ、市民及び地域の医療機関との信頼関係が築かれてきている。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	地域の中核的医療機関として市民の健康増進に寄与している。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	病院事業の収益は、利用料金制を採用した指定管理者制度を導入しており、入院・外来収益の変動に影響を受けない。よって、計画した一般会計からの繰入金の範囲内で、病院事業の収支均衡が図られる。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	市と指定管理者との基本協定の中で、①利用料金制を採用し、指定管理者の赤字補てんを行わない。②市は政策医療交付金を交付する。③指定管理者は指定管理者負担金を負担することになっており、見直しの余地はなし。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	前年度に引き続き、実施設計に基づき、改築工事を進める。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	病院事業経営を安定させ、地域医療の中核的医療機関として市民の健康増進に寄与できる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。